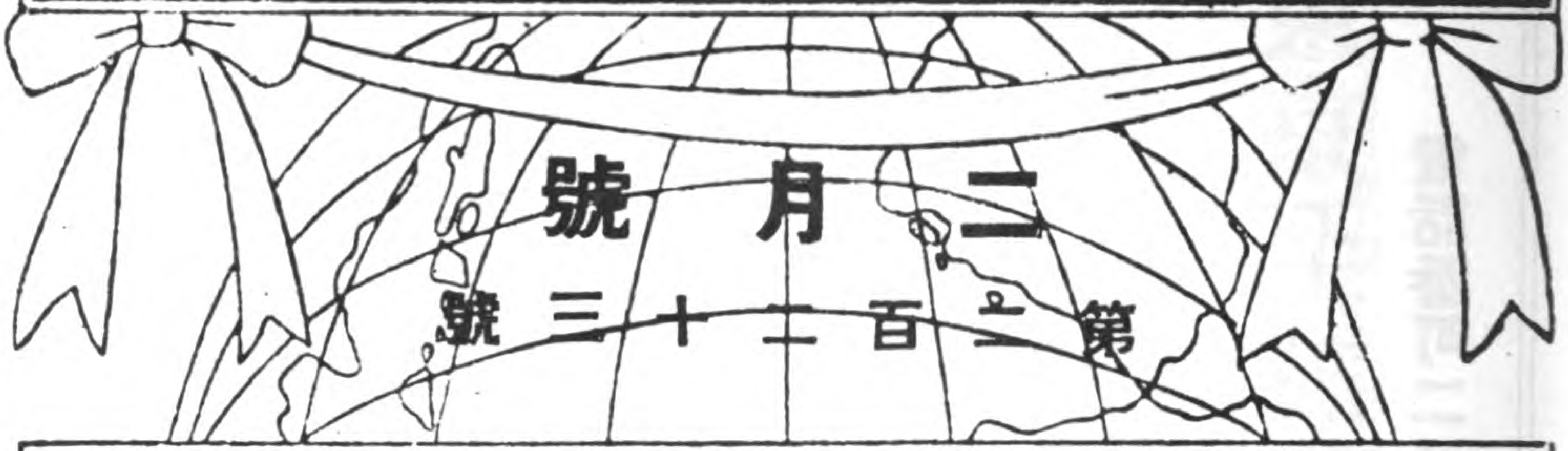
婦人新報



二月號

第二百二十三號

婦人新報第二百二十三號目次

主義の友を弔ふ　矢島楫子
杉本青年部長を送る　守屋東子
立て戰鬪は將來にあり　久布白落實
モンテスリー主義　ミス、クライン
サイダで充分!!　伊澤夫人
おいしい煮出し　同夫人
此書をわが妹に勸む　みどり
「夕ばえ」を讀みて　安中花子
利巧者（下）　花子譯
武藏野　山川まし子
神戸同情會成る　神戸支部
艦隊歡迎の反響　一士官
各地通信
本部、堺、弘前、京都、水戸、岡山、神戸、
編輯室より　エー、エム

基督教婦人矯風會

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

産婦人科
小兒科
女醫 鷲山改め 吉岡彌生
△院長診療 宅診午前 往診午後
△醫員診察 午後
産室及病室の設けあり隨時入院の需めに應ず
東京市麴町區飯田町
四丁目三十一番地
東京至誠病院
電話番町二二五七番

社告

◉婦人新報定價（郵税共）
一部（前金）金六錢
六部（前金）金三十五錢
十二部（前金）金七十錢
（郵券代用一割增）
◉廣告料
一行（五號活字）金十錢
編輯及事務所 赤坂區溜池町三番地 婦人矯風會事務所 電話新橋一〇三六

大正九年一月廿六日印刷
大正五年一月廿八日發行
發行兼印刷人 矢島傳
編輯人 高原學
發行所 東京赤坂區溜池町三番地 婦人矯風會事務所 婦人新報社
印刷所 東京神田鎌倉河岸 丸利印刷所

No. 223. FEBRUARY. 1916.

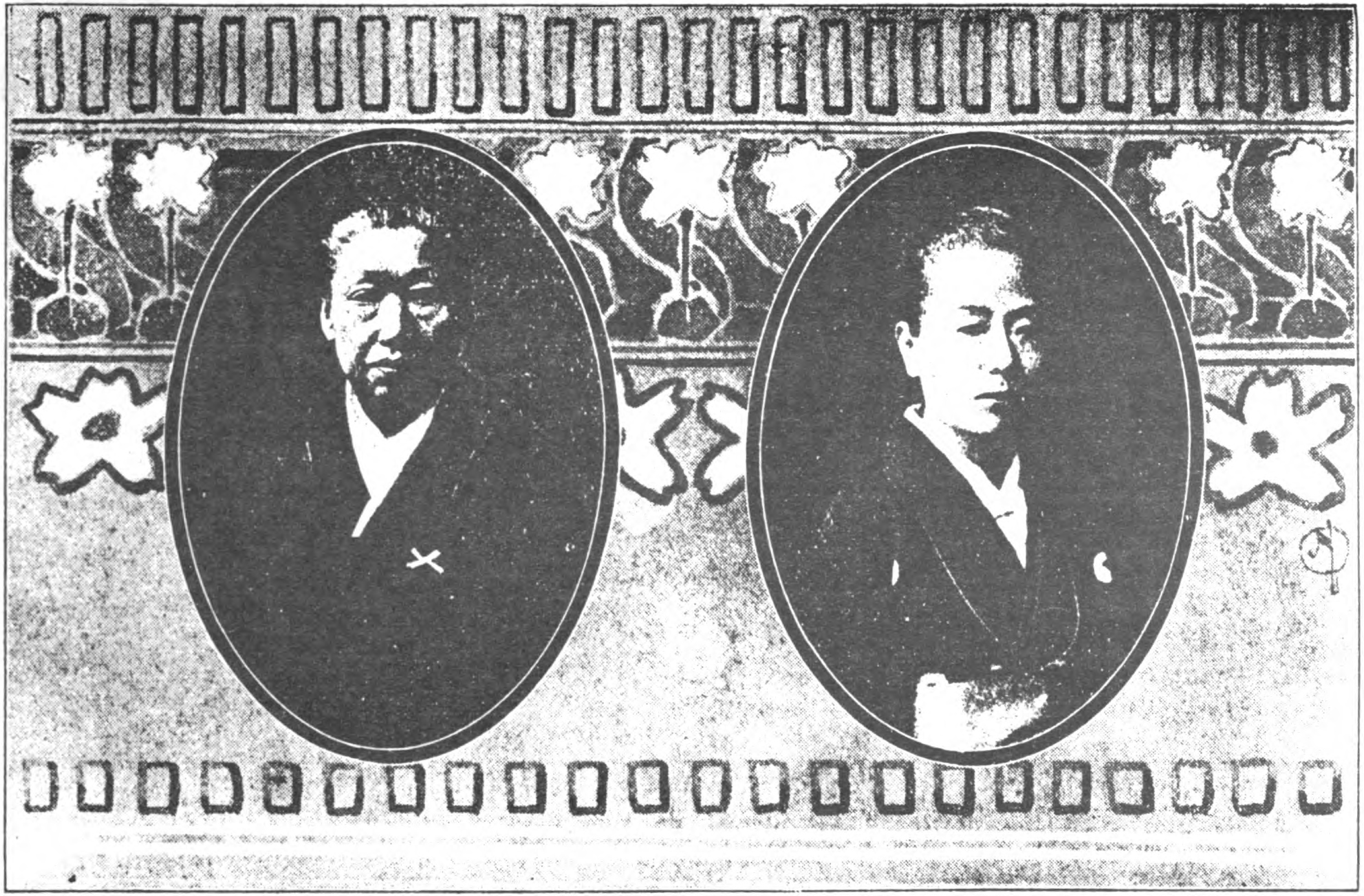
WOMAN'S HERALD.

CONTENTS.

A Eulogy..Madam Yajima.
A Parting word to Mrs. Sugimoto-Superintendent of Y. Department...............................Miss. Moriya.
The Bill on "Prohibition of Prostitutes Abroad," which has passed the House of Commons....... ....Madam. Yajima.
Our Battle is in the Future.............Mrs. O. Kubushiro.
The Montessori System.............,...........Miss Crayon.
Cider as a Drink. How to prepare Good Stock without Sake.......................................Mrs. Izawa.
My Advice to My Sister to read this Book.......Midori.
"Yubae" (Evening Glow)..........Miss. Hana Annaka.
The Clever One.......................................Miss Hanako.
Musashino.................................Miss M. Yamakawa.
A Dojokwan started in Kobe.................Kobe Branch.
An Echo of the Entertaiment given to Sailors in Kobe ....A Navy Officer.
Reports;— Headquarters. Hirosaki. Kyoto. Mito. Okayama. Kobe. Sapporo.
A Message from the Editorial Room.............A. M.

FUJIN SHIMPO OFFICE.
No. 3, Tameikemachi, Akasaka, Tokyo.

Digitized by Google Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA



故安藤文子夫人　　故小磯みと子刀自

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF CALIFORNIA

主義の友を弔ふ

矢島楫子

△二人の友を失ふ

新年に入つて私共は最も大切な二人の主義の友を失ひました。凡て主に從ふ私共の信仰は、先きに召されし人々に暫しの別れを惜しむ情は切であつてもその靈は永久に生きて共々に働らく事を信じ、これ等主義の友の強き力の今更らの如く我が身に、我が會の上に加はるを覺えます。其の一人は禁酒會長安藤太郎氏の夫人文子刀自で、一人は我が矯風會の種子である神戸の小磯みと子刀自であります。

△禁酒の母安藤文子夫人

安藤文子夫人は今年元旦の未明に親しき人々に取圍まれて、靜かに昇天されました。良人安藤太郎氏は人も知る如く前布哇の總領事で、今は日本の禁酒運動の頭領であられます。明治二十一年の四月頃基督教世界の前身である七一雜報に誠に美はしい記事があるからとて、當時同志社に學んで居つた忰から切拔いて送つてくれました。これを讀みますと、布哇の總領事安藤氏夫妻が受洗された事に續いて、天長の佳節に榎本武揚氏から一樽の正宗を送られると、安藤氏は非常に好めるものとて、一旦禁酒した念もそゞろに緩んで、如何しやうかと思案をして居られると、夫人はその底に穴を穿つて、いつの間にか溢して終つたので、氏は此

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF CALIFORNIA

處に一大決心を促して、斷然たる禁酒家となつたといふ記事でありました。私は未見の方ながらかくも立派な主義の友を得た事を、此上なく喜んで居りますと當時本會の書記をして居られた佐々木豊壽氏が「これは打遣つて置くべき事ではないから、早速祝辭を出しませう」と注意をされて、送つた手紙が、後に聞けば同氏の決心に更らに留釘となつたと云ふ事でした。

△家庭的矯風主義者の模範

翌二十二年氏夫妻は無事任務を果して歸朝されました。其の歡迎會が四ッ谷の三河屋で開かれました際に、氏は一場の演説をされた中に、自分は家内のおかげでかうなつたが、その曉日本婦人から祝辭を頂いた時は實に嬉しく頼母しく思はれ、その覺悟は一層強くなつた」と申され、非常に感謝して夫妻は矯風會の會員となられました。この時から陰に陽に矯風會の働きを助けられたのは此處に述べる迄もありませんが、西洋の遊説員が來て、僅かに螢火ほどのもとが出來た我が矯風會を、眞に燃し付けたのは安藤氏の力による事多く、その蔭には實に柔順貞淑にしてしかも沈着なる夫人の力が大きくあつた事は、否むべからざる處であります。夫人は蒲柳の質に加へて、極めて內輪な方であり、且つ御多忙の方であつたので、餘り親しく御交際しないのは殘念でありましたが、家庭に於ける基督敎矯風主義を立派に行はれた手本は、眞に夫人を措いて他に多く類例を見る事が出來ぬと、常に尊敬を拂つて居りました。後禁酒會を組織なすつて後は、專らその會務に力を注がれ、體力以上に盡して居らるゝ事を知つて居りましたから此方から御交際を御遠慮申して居りましたが、然しその人格を慕はしく思ひ、雜誌をお送りし、ふし〳〵には手紙を差上げますと、先方からも御返事を下さいましたが、實に親切な美はしい手紙を書かれました。夫人はまた眞に經濟の原理を解した方で、細かく節約されても、入用な事には綺麗に使はれましたが、かゝる才幹は、強い信仰と相俟つて、どれほど禁酒會の發展に貢獻されたか解りませぬ。

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF CALIFORNIA

殊に夫人は禁酒會を生まれた母であり、これを育てられた慈母でありました。

△矯風會の種子小磯刀自

小磯みと子刀自は今年八十五歳で、私よりは一つ二つの年上でありました。刀自は過る十一日愛子愛孫の暖かき看護を受けつゝ、昇天されました。十二歳の時中山家に御奉公して、先帝がまた祐宮と申し上げた頃背負ふてお守りを申し上げたといふ履歴を持つて居られます。後良縁あつて小磯氏に嫁し二男を擧げましたが、不幸にして夫君は結婚後僅かに三年にして此の世を去られ、困難な家政を切り盛りしながら、二兒を育てられ、町民嘲笑の間に早く京都洋學館に二兒を送つて勉學せしめ、自らは勤勉努力して學資を貢がれましたが、時勢を看破した敎育は、二兒をして後に社會の有用な地位に立たしむるに基礎を築いたので有ました。

△信仰厚き生涯

明治十七年刀自はアッキンソン氏より受洗して、神戸敎會に入り、主に連る幸福なる身となりました。翌年西洋の遊説員の勸めによつて、矯風會を組織せられましたが、之れは實に我が矯風會の起る一年前でありました。この時岡山、名古屋その他の數箇所にも、同じく矯風會が設立されましたが、私共の矯風會が成立すると同時に、これと相提携しやうと申込まれたのは、神戸一箇所であつて、これはみと子刀自の明によるものであります。その他の地方は屢〻協力しやうと相談を持ちかけましたが、其の會と共に立消えになつて終ひました。爾後三十年一日の如く、厚き信仰を以て、孜々として矯風會の爲めに働らかれ、先頃迄も毛絲の屑を集めて見事な手袋を作り、これを金子に換へて、會の費用に寄附されました。また毎朝疾くより起き、日の出の見ゆる所に座し、皇室の爲め、敎會や、矯風會の爲め、友人、一家の爲めに熱心なる祈禱を捧げ、讃美歌を歌ふのを常としたと申します。

* * * * *

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

安藤文子夫人と云ひ、小磯みと子刀自と云ひ、共に本會の種子であつて、これ等の種子の地に落ちて結ぶ實は、限り知られぬものであり、この美はしい種子を持つは本會の誠に光榮とする所であります。

分科會を通過す

□海外賣淫婦取締法案

本部

過る二十七年間、本會より毎年議會に提出したる海外賣淫婦取締に關する件は、過る二十四日の分科會に於て、滿場一致を以て通過したる由、取敢へず齋藤紀一郎氏からお知らせ下さいました。これは我が社會の道義觀念の次第に高まりつゝあるを示して、誠に喜ばしき限りであります。この上は偏に本會議に附して相當の取締法の編まれんことを希ふものでありまして、我が會員諸姉にも、最後の勝利を得るやう熱心なる祈禱をお加へ下さいますやう、お願ひ致します。

□淺草六區改善されん

過る二十七年間我が國傳道界に働かれたるクラッケット女子は、更らに我が青年の爲め、何等か盡したいとの願ひから、昨年全國の青年視察の目的にて、各地の中學校、補習學校、女學校等を巡回されましたが、その校長等は、何れも口を揃えて、淺草の地の誘惑多きことを語られました、女子は歸京後早々其の筋の力を藉りて淺草六區の探險を始め、帝都の中央に、公然と罪惡の行はれて居るのに非常に驚かれた許りか、此處に多くの青年や子供等迄が平氣で往來して居るのを恐れました、そこで如何にもして他に代るべき樂園を作り、これ等の誘惑から逃れしめたいと考へ、奥田市長、その他有力者の後援を得て、先づ活動寫眞館を建てたいと申して居らるゝさうです。いつも乍ら西洋婦人の熱誠と其の研究的に着々と實行に向つて行かれる事は、敬服の外ありません。

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF CALIFORNIA

お別れにのぞみて

杉本青年部長を送る

守屋東子

私は今靑年部の一員として靑年部長杉本鉞子女史を送る辭を述べる責任があると思ます。

然し世間一般の送別の辭を呈して事足れりといふ事は出來ないのです、心に思ふまゝの事を述べて私は御送りしたいと思ひます。

若い私共の仲間は元氣に滿ちて居るだけそれだけ駈足に物事がなりすぎる事が多いのです、其時人一倍考へ深い、靜なあのものやわらかな物言をなさる部長は敎へを與へて下さる事が多かつたのです。

部長の御家庭はいつも私共の爲に開かれて色々の會合の場所となりました。二人の御孃さんを部長はどんなに愛していらつしやることでせう。いつでもお話の節は此孃さん方の事が出て涙ながらに母親としての御經驗談を聞かして私共に敎へて下さいました。

此度の御渡米も御孃さん方の敎育の爲といふ事です斯ういう御母樣を持たれた御子さん方は幸で御座います。心から私共は御一家の幸福を祈るものであります。

部長はなか〳〵話上手な方でお茶頂きつゝ伺ふ時の妙味はわすれる事が出來ません。年の若いものたちの事ですからいつでも部長のお話振をまねしてまた一層の興味を添へる事もありました。

きつと米國に御出になつてもアノ流暢な英語で我國の風俗習慣について又我會の運動方法について御紹介になる事が多いと思ます。いつも眞實の日本を外人に紹介する事は私共の務だと申てお出になりました。

此度の御渡米も部長としては或は古鄕に歸るやうな

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF CALIFORNIA

感じがおありになるかもしれぬと思ます。何しろお子さん方は皆彼地で御誕生になつたのですし十數年も御住居になつた土地ではあるし御良人もまた彼地で御昇天になつたのですから然し人一倍お國自慢の部長は一擧手一投足にも「日本」といふ強い深い念慮からは離れる丶事出來ず、緊張した御生活を御送りになるのだらうと思ますと御同情も自然に湧くので御座います。

永く御世話になつた部長をお送りするに對して私共青年部のものは別段申上るあらたまつた言葉も存じません、今日まで御教導にあづかつた事をわすれず一層會の爲にすべての事を研究して實地に働き得る日に用ゐられるやうなものになりたいと希願して居る事を申上て御はなむけにいたしたいと思ます、御責任の重い所に今日まで御働き下さいました事を有難く御禮を申上ます、御身御大切に猶此上とも私共青年部の爲に遠くから御指導願ひたいと思ひます。

□横に見るのが自然

正月に開かれた麻布青年會の席上で矢島會頭はローマ字賛成の話なされた。其賛成される原因多々ある中に面白い事實談があつた。何しろ御老年の會頭の御眼は若いもの丶やうに充分でない、從つて眼鏡を用ひられるがそれでも思ふやうにゆかぬ、近頃は蟲眼鏡を手にして讀書される、處が普通人が讀むやうにして上から下に字を讀むと非常にお勞になつてとても永く讀書してお出になる事が出來ぬそうである。然し英書を讀むやうに横にして讀書されると少しも勞れをおぼへぬといふ事を發見された、そして其說明は斯うであつた。「お互にどなたでも眼は横に二つ付いて居ませう、それですから横に見るのが自然な事で縦に見るのはむりな話です」と

立て戰鬪は將來に有り

久布白落實子

岡山の如く、行列にでも加へぬと云へば、忽ち同盟して招ぎに應ぜぬ等の復讐手段に出づるなど、一個の藝娼妓としては同情すべき境遇より來たものもありませうが、今日の我國に於ては、彼等の位置は、憐まるゝよりもむしろ警戒すべき地位にあることを知らねばなりませぬ。向ふ六箇年を期して我等が、我國の膏盲に入りたる疾病に、一療治を加へんとする時に、先づ第一に現今の國狀を知悉して、戰鬪の準備を調ふる必要がありませう。戰鬪は實に將來に有りです。新年は我等の奮起を待つて居ります。

△膏盲に入りたる疾病

曠古の御大典はすみ、歳も亦暮れ、大正は第五年の旭日を迎へました。敵を知り、味方を知るが戰ひの一義とか、我等は過る御大典の際に於て、かの藝娼妓なる一階級の人々が決して、肩をすぼめて居らぬ者なることを、目の當り實驗致しました。東京、大阪を例に取るまでもなく、偏僻。當高松市の如きすら舊城址、櫻の馬場で催された市民一般の奉祝會に、數十人揃ひの紋付き、丸帶で、市長はじめ市の代表者等の前を通つて座についたのは藝者の一隊でした。第二式の座持ちとして斡旋したのは云ふまでもない事です。遇々

△我等の敵は誰ぞ

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF CALIFORNIA

我等の敵は誰れぞ、藝娼妓を要する社會です。彼等なくしては日常の交際もよくせぬ男子です。子女に藝娼妓を強ふる文盲なる父兄です。更らに進んで、彼等を白晝、默許して怪しまざる我が日本帝國の道德觀念です。政府はこれを公認し、神佛教は助けて怪ます、教育家の多くは溺れて恥ぢず、以下紳士紳商と稱せらるゝ人々等は豚の如く耽溺して何人も不思議とも思ひませぬ。かゝる劣等な、腐れ切つた社會に、この種の蟲の生ずるは當然の事です。我等は個人を教育せねばなりません。社會を教育せねばなりませぬ。女子を教育し、男子を教育し、日本全國に火の手を擧げて、隅隅隈々より攻め起つて、遂に我が國の輿論を征服せねばなりませぬ。今日人々が獨探たるを恥づる如く醜行を恥づるに到らば、社會は其制裁によつて、立派に立ち行くことが出來ませう。

△可憐なる奴隷解放

藝妓も娼妓も、人の子です。掌中の玉と愛でられた幼時もあり、無垢の少女の時代もあつたには相異ありませぬ。彼等の周圍、教育、境遇が、彼等をして忌む可き境遇に陷れて居ります。殊に娼妓の如き、賣買の約定より、其生活狀態に到るまで、純然たる奴隷であることは何人も否みますまい。明治の盛代、大正の御代に到つても彼等には何の恩澤もありませぬ。相變らず日毎に店を張り、顏を晒らして客を待つ、有樣です。彼等も同じ人の子女です。やはり一箇の婦人です。是れを見殺しにして濟みませうか。可憐なる奴隷の解放を、向ふ六箇年間の事業として進まんとする、この矯風會に世の志士仁人は一臂の力を惜まれぬことを信じて疑ひませぬ。

△解放は教育にあり

如何に他人から解放を叫んでも、娼妓自身に其れを望まずば、何の甲斐もありませぬ。教育は解放の第一歩です。嘗て自由民權論の花咲いた頃、板垣伯の談として語り傳へられた話が有ます。或る大名が幽せられ

て片田舎に詫しい月日を送つて居る時、領中の百姓が蛤を一荷、擔ふて見舞に來た、感心な百姓だと賞めたが、伯曰く、それだから自由民權を稱ふるのだ、彼れが若し士なら、何んで蛤一荷擔いでおめ〳〵御見舞に來られやう、百姓と云へば早や人間の内には入れて居らぬ、自由民權の必要實に此處にあるではないかと云ふ話をきいて居る。實際さうです、彼等もやはり陛下の赤子、堂々たる一箇の國民となり得るものではありませぬか。只金錢故に再び來らぬ青春の機を、人の獸慾の犧牲となつて、日を暮らすとは何たる事でせう。このことを彼等の胸中に深く悟らしむるは實に解放の第一歩と申さねばなりますまい。

△解放は救濟にあり

救世軍は自由廢業の實行を助け、婦風會は慈善館を設立して彼等に生計の道を敎へて居ります、解放して爲すべき事は救濟です。廢業後の身の振方です。十數年來、婦風會が其方面に着眼して、既に東京市外、大久保に千餘坪の土地を買ひ、家を建て、種々の設備を爲して、着々救濟の實を擧げ居ることは感謝の外は有りませぬ。將來この種の働きが處々に起つて、到る處遊廓の有る地方には、廢業者を救濟する機關を設くることは、國家に對して大なる貢獻と云て憚りませぬ。

△解放は神子の自覺を與ふに有り

解放の終局は宗敎です、彼等をして神の子の自覺に入らしむることです。人間としての價値を眞實悟らしむることです。我も亦、神の子たりとの大なる自覺に醒めて、人たる自重心を得ることです。遊廓傳道は今直ぐ何人にもせよと望むは困難でせうが、どうかして彼等にも、眞の神を知らしむる方法を講じたいものであります。（大正四年十二月三十日稿）

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

□本年の解剖初めは大酒飲み

そこで執刀した片山醫學博士の狂歌に曰く

「飲んで覺えた太酒の害は覿面今日の解剖」

東京帝國大學法醫學敎室に於ける本年の解剖初めは三日夜月島で博徒の乾兒深政の爲めに匕首で殺害された同じ博徒の林留吉四十二歳と云ふ大酒飲みの遺骸であつた。

□解剖は六日午前九時に行はれたが致命の傷部は肺臟心臟の出血で、大酒を飲んで居る場合の負傷であつた爲め、一層脆く往つて仕舞つたのだが解剖なして居る間も酒の香がプン〱鼻を突くやうであつたと云ふ。

□片山醫學博士は之に就て語つて曰ふ「飲酒の害は現實に、將た將來に、全く世人の諒想外に甚だしいものがある、我々は之を始終研究して寒心に堪へないから、一人でも餘計此害から覺醒させやうと努めて居るが一向世人は馬耳東風と聞流して、其害の自己の身體に肉迫しやうとして居るのも知らずに居るとは情けない、此解剖初めの壇上に横はつた男なども、若し酒を飲んで居なければ如何に喧嘩をしたとて生命まで棒に振る愚な生涯は遂げなかつたであらう、是ればかりではない從來も吉原邊で行はれる殺人喧嘩などをするものは、殆んど皆淺草邊の安料理やバーのやうな處で酒を飲んで居る。

□一體安い下等な酒位危險なものはない、あれは精米から取つた酒ではなく、馬鈴薯などから取つたものにアルコールを割つて色を着けてあるので腦を刺戟すること甚だしい、好く人が獨逸の國民もあのやうに麥酒を飲むけれども害がないではないかなどゝいふが、ナーニ獨逸でも今は非常に悔悟して居るし、識者は又國家將來の爲めに彼の習慣を非常に心配し、漸次此國風から脫しやうと努力して居る。

□本年の解剖初めに大酒飲みを執刀して駄句が一つ出來た。

屠蘇神酒飲んで覺えた大酒の害はてきめん、今日の解剖

□アイヌ人三助さんの端書

京都に迷兒となつて居つたアイヌ三十人の内に三助さんといふ人が居ました、次のやうなハガキをもらひました。

「拜啓私共が京都に參りました折は色々お世話樣になりましてまことに有難く御禮いまします、私等がぶじに、かへつてじぶんの仕事をしてゐますから御安心下さい。

同志大學にもよろしくたのみます。」

興行して一儲けするやうな山仕事をしないで着實に其處に居つて仕事をして下さいといふ事は私共の願でした、今此ハガキを得て感謝してゐます、猶同志大學といふのは世話になつた同志社大學の學生の人々によろしくといふ意なので御座います。

雪深い日高に働く此等の同胞の上に神の惠を祈る。

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF CALIFORNIA

モンテスリー主義

ミス・クライン

クライン女史は幼稚園研究家としフレーベルの後を襲ふて現はれたる伊太利モンテスリー女史の高弟であります。過る頃来朝し、目下東京市小石川區高田老松町五十ブラツクマーホームに滞在せられて同ホームの邸内にある緑幼稚園に於て、其方法を講じられて居られます。

日本は兒童に就いて充分考へを持つて居る國の様に思はれます。さうですから多くの方々が兒童に大切な敎育法を熱心に知らうとしてをられるのだらうと思ひます。然し若し兒童の心理を充分理解しませんと、兒童の爲によくし様とし過ぎて却つて害をする事があるかも知れませぬ。

モンテソリー女史は、先づ最初に兒童を本當に研究してから其の敎育法をつくられました。學理からおして敎育法を考へ出し、それから兒童に應用されたのではありませぬ。兒童に對する永年の經驗と研究に依つて、如何したら兒童が一番早く物を覺えるかと云ふ方法を發見されたのであります。彼女は兒童の心の中に既に成人になつてからの人格を形造る隱れた力があるといふ事を信じて、子供時代に對して非常な尊敬をはらつてをられます。

兒童の心に知識を注ぎ込むのが唯敎師の動きではなく其の兒童の中にある可能力を自由に發達させるのが大切な事であります。舊い敎育法は凡ての兒童に對して同一の方法をとつてをります。然し凡ての兒童を同一型に入れ様とする時は、多くの才能や又天才さへも破されるといふ事は誰も知つてをるところであります

モンテソリーの敎育法の主な目的の一つは兒童の個性を發揮させるといふところにあるのであります。

日本の様に兒童に注意をはらつてをるお國では、此新しい敎育法は必ず歡迎される事でございませう。

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

サイダで充分!!

伊澤夫人

私共の親戚は幸な事に皆酒もまた煙草も頂きません娘達が嫁入りました先の主人達も皆酒を頂きません、宅の主人が少々頂てをりましたがこれも只今では全く禁酒になりまして御座いますから宅で會などいたすときも酒を出すといふ事は御座いませんのでどんなに幸で御座いませう。

永く米國に參つて居りました息もあちらで信者になり歸朝いたしましてから、ぜひ信者の御孃さんをむかへたいと望んで居りましたが幸願たやうな嫁をむかへましてよろこんで居ります。日曜毎には夫婦して敎會にまゐります、勿論禁酒禁煙で御座います。

「私が外國生活中眞面目に過せたのは、母様が全く信者であつたおかげです……」

と申ております。

先頃主人が知人の御結婚披露の席に出ました時、例によりまして御酒が出ました。頂かない酒を頂く事もないと存じましてボーイに

「私にはサイダを――」

と申たそうで御座います、ボーイは早速サイダを持つてまゐりました、處があちらでもこちらでも皆様が「サイダを」とお望みになつて其席では御酒を召しあがつた方がなかつたと申ております。

此事は結構な事で御座います、酒にかはるものが御座いませんと人様に對して失禮だとかまた何とか申てむりに頂けぬものも頂いたりいたしますが「サイダ」のやうな都合のよろしいものが御座いますのですから酒の代用に使ふ方が一番よろしい事だと存じます。

＊　＊　＊　＊

伊澤夫人は伊澤修二先生の奥様です、寒い正月十五日の朝會頭に御面會に御出になりました、一番初めに矯風會に入會なさつた方だそうで御座います、いろいろと會頭と御話の間に伺ひました御實驗談を書いて見

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

ました、然此時夫人は「味淋は如何でせう?」と御質問なさいましたから、酒精は普通の酒よりも多量に含むんで居る上に他の有毒素をも含んで居る事を申ました、すると夫人は

「左様で御座いますか承りません事はしかたのないもので只今迄煮物に使つて居りましたが、早速やめる事にいたしませう、鰹節なり砂糖を多く使つて其代用をいたしませう」

と御よろこびになりました。

夫人は非常に臺處に興味を持たれる種々なお話をなさいました。

味の元が今少しく廉價ならば常用にしてもよいがどうも高いので反つて鰹節や其他を充分に使つた方がよいやうであると御實驗を御きかせ下さいました。

□おいしい煮出し

一、煮出昆布　ハガキ二枚大位のもの
一、大豆　一合
一、唐がらし　三本

右三品を一升五合位の水に入れて煮出を作る。

昆布はごくざつと洗ふ事。

唐がらしは決してきづを付けぬやうにする事、(きづがつくと辛味が出ます)

此出しは非常に美味で滋養にも富む、御實驗を乞ふ。

* * * * *

大豆といふものは其煮汁が非常に味のよいものです

只大豆を煮る時にも初めに水を澤山にして其水を取つて他の煮物に使ふとよい味があつて結構です。

この二つは伊澤夫人が事務所に御來訪の節に御土産話に頂たものです、御分配いたします。

Digitized by Google

Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

此書をわが妹に勸む

基督教十講を讀む

みどり

私は此手紙を書く事を非常にうれしく思ふ。
唯二人きりの姉妹で何でも同じやうにゆきたいと願ふて育つたものながら自分丈先に信者になつて妹を導く事も出來ずに居つたのに去年の春、今日受洗したといふ通信を妹の夫から一枚のハガキでうけた時は、心から感謝したのであつた。
私とは全く異つて謙心のある妹は美しい感じを凡てに表はして暮して居つた、然し心の底に所謂安心立命といふ事は浪間の小舟でゆら／＼して居た、母に送つて來る手紙でも私に寄せるものでも、何か物足らぬ何か見付けねばならぬやうなものであつた、末娘の可愛さに滿たされて居る母は斯うした手紙の來る毎に案じないでは居られぬ、妙な夢を見たとか風邪が流行とかいふて唯わけもなく思ひすごした間柄が、受洗してかう不思議なやうに變化した。
神が凡てを支配したまふ、神の前には凡ての事が明である、神によりて日々を向上してゆかうといふ考に到着し得た妹は感謝して働くやうになつた、妹の夫は妻の此變化を此上もなく喜んで猶一層進歩させる事につとめた。
第一に讀書をすゝめた。
子供はあつても讀書を怠るなと心付書物を買ひ與へた讀だ書物についていつも大略の感じを述べて私に寄せる、そして讀書に對する興味は自然とわいて來るやう

である、何かないか〳〵と尋ねて來る。
六つになる姪は母の變化を自然にうけて日曜學校にゆくやうになつた、女中も同じ事である、そして昨年のクリスマスには近處の人々を誘うて都合三十五人一群になつて教會にいつたと知らせて來た、正月には日曜學校の生徒で近くに住む子供等を招待して遊んだら其時も二十三人集まつたといふ事である、此友達は女中と姪とが日曜學校行を勸めた結果得た寶ときいては感謝の外ないのである。

私は一人の妹が斯うした喜びを得やうとは願いながら斯う早く斯う明確に發表される事を知らなかつたのである、妹に讀書をすゝめる夫のある事は私としては此上もない有難さである。

私は此正月靜に家に居つた、そして讀書した。其中に宮川牧師著基督教十講を讀んだ、第一に感じた事は私の妹に讀ませたいといふ事であつた、妹は未だ信者になつて日が淺い、基督教についての神觀や、また人生觀其他樣々な點について知識の乏しいものである世の多くの斯うした書物は澤山あるが此書のやうに明らかに興味多く理解しやすく認めたものは得やすくないと思うた。敬神の念深い牧師が眞實信徒を愛するが故に書かれたといふ觀のある此書を私は是非妹に讀む事を勸める。

妹はいつも日本にも思想家のある事を主張して居た此基督教十講を讀むときに中江藤樹先生の見識について宮川先生が認められた處を見れば如何によろこびまた驚く事であらう、まして基督教信者が明確に天の父と呼ぶ處のそれ即ち藤樹先生等が何と呼稱して滿足を得んかと苦しまれた尊厳なる人格の存在である天地の源、萬物の基である神を妹自身が信ずるといふ事を思うたならば深く感激する事であらうと思ふ。

淺い私共の信仰や知識は斯うした書物によつて啓發

されゆくものである。
夫人から此書をあなたと一緒に贈られた必ずあなたも此書によつて益された事が多いと思ふ、私は第一に妹に此書を買ふ事をすゝめます、そして讀んだ後の話を聞く樂しさをおぼへるのです。
今日もまた温い天氣になりました、これから出掛けます、或は此手紙よりも先に今日あなたにお目にかゝり得るかとも思うのです。

「夕ばえ」を讀みて

安中花子

星流る、其瞬間に胸ぞこにひゞくものあり大なるかな。
大空に黄金の柱我が歌の宮居うつくし、公孫樹のもみぢ。
蟲かごをかやに抱きて兒は眠る、音には鳴きそね夢のやぶれむ。
捕へ來しとんぼの番をせよといふ蟲の臣と母をするかな。

かうした御歌の中に野口夫人の御性格をうかゞふ事が出來るやうな氣が致します。元より私は夫人とはホンの一面の識より持ちませぬ、それもそちらでは御覺え無き事と存じます程行き過ぎがてに御めもじ致したので御座いますれば御性格などはトンと承知は致して居りませねど唯斯くあらんと想像した夫人の人となりをなつかしんで居ります。
宗教思想、詩的情緒そして母心。かうした三つのものが互に入り亂れて、而も案外に衝突少なく御性格の中を流れて居る――「夕ばえ」を讀んでをる間に先づ心に起つた感じはこれで御座います。
くれなゐ色に黄金色に木の葉が散れば「おもひでの

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

ため我も舞はまし」と歌ふ純詩的情緒は時にまた涙の途のこゝにありやと「眼に針したき」やうな或は電球わつて「火の絲に黒髪焼かむ」といつたやうな氣紛れ心(?)の閃きともなつて表はれるのだと存じました。

もみぢ散りゆく秋の日に我も舞はましの御歌からフッと心をかすめて通つた他の歌が御座います。

寂しさのありのすさびに唯獨り狂亂を舞ふつめたき部屋に

表はれた外の形は全く異つた二首で御座いますれど何處か底の底に同じ氣分が流れてゐるやうに私には思はれます。唯、時に定規を逸した――と申ましては何か妙に聞こえますれど、要するに詩人の心といふものは現實世界の指金では合はせて行けぬもので御座いませう――氣分が湧いて參りましても全く我を忘れ、我を滅して「所謂舞ひ出でる」までに感情の高調せぬ夫人なればこそ「夕ばえ」一卷のあの洗錬された情感の歌を御詠み遊ばすので御座いませう。形式を異にした二つのものゝ間に勝手な類似を作り出だした不しつけは偏に御ゆるしを願はねばなりませぬ。

我儘の心やうやく衰へて針の幾日の靜かなるかな。

たはれをは遂にかへりて親に泣く、物ぬう毎にその心地する。

歌人と主婦がしほらしく妥協(これもシックリ私の氣持に合うた言葉が得られませぬ。)した處に言ひ知れぬ美しさを感じます。

素直にも得とげし戀の喜びやのどかなるかなこすもすの咲く。

コスモスの花のやうな娘さん、スラ〳〵と何の苦勞もなく人生の幸を獲た人は、可愛らしうは御座いませうけれどしんみりした調子は缺けて居るものでせう。

花かざしすればかすかに我が髪の匂ふかなしさ逝く春の宵

髪にかざした花がフッと我が身に匂つて來た刹那の甘い寂しさ、私も覺えが御座います。

珍らしきものゝたぐひに自らの生命をいだく秋雨のよひ。

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF CALIFORNIA

「人の世に我も生れし其の不可思議」は秋來る毎にしみじみと思はれ、奇しき我が生命の裡に潜む無限の力におそはれては恐ろしきまでに私は生きて居る事の責任を感じます。

心引かれた調べの三つ四つをこゝに並べて此の稿を終へませう。

歌のため入日を見よと兒の來り我が手を引けば涙さしぐむ。

歌と我いづれを母は好むやと悲しき問を眞面目にていふ。

よき程にしめり合ひたる心こそ戀と言はまし放つすべなし。

喜びも憂も一つ水底に氣味よく澄めり大利根の秋。

買はれ來しよりやの年期十歳の兒がはたちまではといふが悲しき。

武さし野

ましこ

大阿蘇に雲埋むらん武藏野の雜木林の木がらしのこゑ

滿ちてかけぬ吾窓の月みる間だにひとりある夜はさびしきものを

窓近き梢のかげのまばらにも明り障子に震ふ寒けさ

黄金波いま跡しらぬ荒小田に淡雪散り來群鳥のこゑ

雲も燃ゆ冬枯の野も森も燃ゆおごそかに逝く夕陽のかげ

冬枯はこゝにもしるしあの梢露はに半月たかし

父の子ぞ母のまな子ぞ旅に出でゝ強くあれ子よ父母の子よ

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

利巧者（下）

安中花子譯

次の數日間、アリスはなるべく論文の事は忘れよう忘れやうとして居るのですが、ともすれば思は二階の机の引出の隅の方へと迷つて行き、従姉の家族が訪問に來た時には珍らしくも出來損ひのお菓子をこしらへました。

「料理なんぞよりはもつと大切な事を今折角考へ最中なのだ」お祖父様は機嫌よく孫の失策を辯解しました。

「腦の仕事に氣を取られて居る時といふものは手先の狂ふものさ。」

漸々のことで一週間經つた其の日、アリスは臺所の片付もそこ〳〵に二階へと上つて行き怖いものにでも觸れるかの樣にソーッと大事な〳〵論文を出して見ました。題を讀み、それから最初の三四行に目を通した時既にアリスの心には情無い失望の感じが湧き行を追うに従つてその感じは強くなるばかり。讀み終へた時には慾目にも之が一等賞にとは思はれませんでした。然し中々失望はしませんでした、一心に修正した後、また、もう一度ソッとしまひ込んで置き、さて數日の後に取出して見ましたが、矢張り大して立派なものとも思はれませんでした。熱心に事をして、それが善く出來なかつた時の痛ましい淋しさを胸に感じ乍らボンヤリ其處に座り込んで居ましたが何を思付いたか急に立ち上つて臺所へ下りて行きました。

益の表れぬ努力でムシャ〳〵して居た心を紛らすべくアリスは久しぶりで得意の菓子を作り始めました。

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

風通しの善い窓下に並べたお菓子は形といひ輕さといひ申分の無い出來榮えでした。

「ハートレーの奧樣の處へ持て行つて上げよう。」

實際アリスは誰かに褒めてもらひ度くて堪らなくなつたのです。ハートレー夫人は大の食道樂で、自分でこそ作りはしないが、お菓子の品定めと來たらこの人に限つて居りました。

「ほんとうに有難う。今週は丸でサラダ責めの樣に、サラダより外には何も口に入れなかつたもので、このお菓子の美味しさはまた格別ですよ。ずうつと、あの純良食品陳列會の方へ行つて私のサラダをこしらへて居たのよ。」

「純良食品共進會つて、何です、大層難かしい名ですね」。

「何ね展覽會の樣なものですわね。漬物だの、香料だの、葡萄汁だのといつた樣なものが出て居るんですがね、出品社は皆然ういふもの〻材料を賣る商賣人です。つまり自分の店の品物を廣告するのが目的でせうね。それから時々大きい粉屋なんかでは誰かお料理の上手な人を賴みましてね、自分の家の粉で何か作つてもらつて居ますよ。見物人は初から終りまで味を見る事まで出來るといふ譯ですわね。

まあ、ほんとうによく出來たお菓子ですこと。後のお樂しみに二つ丈け殘つて置きませう。

もうお歸り何もお構ひしませんでしたね。今日は色〱の事があつて大分イラ〱して居たのですがあなたが來て下さつたのですつかりなほりましたよ。

では御機嫌よう。有難う御座いました。」

アリスは氣も晴々と家へ歸りました處が祖父は來客と打解けた話に餘念ない最中でした。縫ひかけの衣服を出して仕上げたり、久しぶりで以前の樣な氣樂な心持で殘りの時間を過ごしましたが、やがて祖父が論文の失策を知つたらと思ふと何となく安からぬ氣もしました。

其の翌日、昨日の客がまた來ましたがそれからの二十分間に起つた事はまるで夢の樣、アリスは狐につま

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

まれた心持で居りました。
「アリス様が御褒美をお取りださうですね」客は先づ口を開きました。お祖父さんは然あらぬ體で
「そんな事が有りましたかね。」と言つて一生懸命に平氣を裝つて居りました。アリスは堪りかねて
「でも、私は論文を出しませんもの」と言ひも果てぬ處へまた新しい客が……。
「やあ先生、今晩は。」
「今晩は、丁度診察の歸途ですが一寸御寄りしてアリス様に御祝を言はうと思つて。」
新しい客の醫師は元氣よく話し出しました。
「私も審査官だつたから、あなたのお菓子の味は實際に知つて居ます。
いや、少し急ぎの用が有るのでゆつくりはして居られません。どうぞ御構ひなく。何しろ、まあ御目出度い事です。どうもお邪魔しました。」スタ〳〵と門まで行つたのを一寸立ち止まつて其處から大聲で、
「やあ、向ふからカーバー君がやつて來ますよ。あのお菓子をもつとこしらへて呉れと言ふのかも知れませんよ。」と内の方へ申ました。
「お祖父さん、あなたがあのう私のをお出しに……」
「アリス、お前菓子に就いて論文を書いたのか？」
「私、論文の結果は未だ發表にならないと思つて居ました。」
「論文の事を菓子とでもいふのかしら？」
祖父の顏付はまるで雲の中をでも分けて行く時の様です。
「何でもよくは知りませんが、スラ〳〵スラッと腹の中へ溶け込んで行く様なもので詩とかいふのがあるさうですがね、然うして見れば、矢張りお菓子の様な工合ですが、論文とかいふ方はどうでせうかね、どうも一向に然ういふ事は心得がありませんが……」と客も何やら譯が分らぬ顏付。
丁度其處へ最前醫師が噂した人が來ましたのでアリスは早速に
「食品陳列會でお料理の競爭でもあるので御座いま

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

せうか。」と問ひ掛けました。
「始めて御目に掛ります。私はカーバーと申しまして食品陳列會の幹事で御座います。既に御承知と存じますが、あなたのお菓子が例の二十圓懸賞に入選致したのです。で、あれを出して下さつたハートレーの奥様のお話ではあなたはいつもフレッチャー商會の「純良粉」を御使用ださうで、就ては商會の依頼で參つたのですが來週陳列會場でこの「純良粉」の優良な事を實驗でお示しになつて頂き度いのです。來週中毎日で御座いますが五十圓の御禮を差上げますし一人御手傳も備へて置く事と思ひます。料理の設備は總べて完備致して居りますから決して御不便の無い事は御請合致しますが如何でせう。何もかも新式で極く便利に出來て居ます。」
息を殺して成行を見て居た祖父は二人の客が歸るや否や殆腹立しげにアリスに向きました。
「お前はどんな氣で承知して仕舞つたのだ。一體全體どうする積りなのだ。」
「どうするつて、私勿論試つて見る積りですわ。」
「出來さへすれば、大したものだが、どうも難かしさうだせ。新式の設備なんて、お前はちつとも知らないだらう。」
「直ぐに慣れますわ、慣れて仕舞へば何でもありません。」
「どんなものを料理させるか分りやしない、そしてそれを新式の道具でやるのだからな。」
老人は中々安心致しません。
「少し早く行つて、一應試めして見ますわ、それから濟んだ後でも稽古しますから大丈夫。重にお菓子類とかビスケット食パンといつた樣なものが出ますよ、毎日入用なものですからね。」お祖父さん大丈夫ですから御安心なさい。私、樂しみでたまりません。」
「それにお前は人の前なんかで料理した事は無いだらう。色々な事を聞くよ。面白半分に、困らせる樣な事ばかり聞くものだからな。俺にはどうも安心が成

らない。」
「然んな事もきつと有るでせうが、まさかまるつきり理屈に合はない事は聞かないでせうから、考へられますわ、大夫丈、考へれますとも。大夫丈です。」
其の一週間の終りの日、友に送られて家に歸つたアリスの顏は幸福其のもの〻權化で御座いました。
「まあお祖父さん！」友は息をはづませて老人を呼びました。
「スターバック樣が「道路」といふ題で論文の賞を取りましたがね、アリスさんのお料理で夢中で誰もそんな事耳にも入れませんの。まあ、あの大勢の前でアリスさんが落付き拂つて、粉をはかつて交せて、形をこしらへて燒いて居る處はまるで畫の樣だつて皆が言つて居ます。」
「あんまり下手でも無かつた樣ですね」あふれて來る笑を呑み込み〱祖父はやう〱これ丈け言ひました。
此の時アリスは二階の居間で一人此の間の論文を眺めて居りました。「趣味のおもむく處必ずしも天才の存する處に非ず。」といふ題で「若し願望の量に依りて成不成の定まるものとせんか、世に成巧者の數は殆數へ難き迄に多かるべし。」といふのが冒頭でした。
「ほんとうに〱惜しかつたわね」論文のページに向つて斯うひとりごちました。
「でも私はこれで善いお稽古を覺えてね。羽も無いのに飛び上らう〱と思つて散々苦勞した後では、隨分けはしい山道でも一足づ〻登つて行く事位は何とも思はなくなるものよ。飛び上らうとしてどんなに苦勞したものだか。」そして論文は行李の奧深く祕めて仕舞ひました。
階下ではお祖父さんがアリスの友に
「俺が此の間もあなたに話したでせう。全く彼女は家中での利巧者です。」と言つて居りました。

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

神戸同情會成る

神戸支部

兼ねて會員一同設立の必要を認めて居つた同情會は、愈よ一月開始の運びになりました。左に趣意書並に會の働らき、及び一般に配布した引札を掲げて、此の會の模樣をお知らせいたします。

△同會趣意書

如何なる社會でも婦人を拔きにしては、成立たないと思ひます。從つて何んな方面にも婦人の直接間接に關係しない處はないのであります。

人口の大凡半數を占めて居る婦人と申す者に對する我國一般の態度は如何であるかと考へますと、誠に御話にならない程幼稚なものでありましたが、近頃やつと氣が付て參りまして、幾らか婦人に對する考がよい方に變つて來ましたが、殘念な事には未だ議論が多くつて、唯今の處精神上、物質上の兩方面より婦人に深い同情と正當な理解とを以て指導を與へ又は後援となつて居る健全な實行機關の乏しい事であります。爰に大に見る處がありまして、不束な私が不德淺學を顧みず、敢て婦人の爲めに我神戸市に類のない特別な會を興したいとの衷情を禁ずる事が出來ません。幸ひ私の後には十數名の隱れたる先輩方が控へて居つて下さるのであります。實は今回其御同情に推されて、曠古の御大典を擧げさせられたるを永久に記念し奉りたいとの微衷から今度特に此會が生れた譯で有ます。

本會は差當り婦人の風敎問題や生活問題乃至精神上の煩悶等の實際問題を取扱つて、聊か社會の缺陷を補ひ同時に不幸な運命に捕はれんとする婦人をして意味のある勇しい生活を營ましめたいとの望に外ならないのであります。

江湖の厚き御同情と賢明なる御示敎とを戴き幸に本會が生れ出でたる主意を貫徹致したいと心から希ふ者であります。

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

大正五年一月　神戸婦人同情會

主幹　城　のぶ

場所　神戸市下山手通四丁目

△同會の事業

一、人知れず煩悶に苦しみ途方に暮れた婦人の相談に應じ、是に適當なる解決を與ふる爲めに盡す事

一、誘拐又は身を賣られんとする婦人を其危險より救ひ是に健全なる道を與へて其墮落を未然に防ぐ爲めに務むる事

一、失業者に相當なる生業を與へて、生活上の困難より來る種々なる危險より救ふ爲めに盡す事

一、身倚りなき孤獨の婦人の友となり、相談相手ともなりて其將來を誤らしめざる爲めに相當なる方法を盡す事

一、種々なる原因より精神の疲れた方、心は暗闇となつて何の希望もなき方、悲哀に泣く方、苦痛に堪へぬ方、又は精神上の劇しい惱より遂に病氣に罹りし可憐の方、其外精神上の苦痛を訴へる方に同情し是等に對して最善の道と認むる方法を講ずる事

注意　御交渉は口頭又は書面何れなりとも隨意の事

本會は個人の名譽を尊重し交渉事實に對しては堅く祕密を守る事

左は一般に撒いた引札です。

神戸婦人同情會

とはどんな會ですか

一、人に話されない心の苦しみで困り果てた御婦人方の御相談相手になつて明るい樂な方に導く會です。

一、うつかり口車に乘せられて身を賣られかけたり又は婦人の身を汚されたりする處を御助けして立派な生涯を送らして上げる會です。

一、一人で働いて食べねばならない婦人が仕事が無なつて食ふに食へぬといふ時に相應な仕事を周旋する會です。

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

一、身倚りのないほんの一人ものを御世話して何處までも御友達になつて上げる會です。

神戸婦人同情會に御用の方は御銭などは少しも入りませんから御遠慮なくお出下さい。お出の出來ない方は御手紙で御用を仰つて下さい。

皆さんの御用は堅く祕密を守つて御名にかゝらない樣に致しますから御安心下さい。

場所は神戸市下山手通四丁目縣廳裏通り東半丁

(神戸養老院でお尋ね下さい)

艦隊歡迎會の反響

神戸某會員

十一月十七日より二十日迄四日間に渉り、神戸市基督敎靑年會と神戸婦人矯風會とが協同して、折柄碇泊中の艦隊乘組員を歡迎した由は、十二月の紙上に委しく揭載致しましたが、左は當日招かれたる一人が其知友に手紙に添えて送られたるものであります。これによつてもその歡迎振りのいかにも人々の氣に叶ひ、延いて私共の主義の宣傳となつたことを喜ばずには居られません。

△招かれた記

今迄の上陸日の割で行くと今度の招待會にも出席致されぬ事と思ふて內心非常に失望して居たが、上陸日を繰り合され三日目の日に上陸が出來て嬉しかつた。兎に角基督敎の團體が艦隊を歡迎招待すると云ふ事は今回を以て其嚆矢とする所であつて、又其淸き性質に於ても又始ての事である。殊に基督敎徒の主催と云ふ事については、自分は少からぬ興味を以て、今日の日を迎へたのである。定刻より三十分前に起床し、例によつて冷水摩擦を行ひ、體操を濟ませ、下着から靴下まで着替へ食事なしに十分メカしたつもりで鏡に向ふたらカラの汚れが非常に目立つ早速新しいのに替へ上陸喇叭を待つた非常に待遠い氣がそわ〳〵する實を言ふと自惚かも知れんが自分のために此の會が催され

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

た樣な氣がする曾て海軍病院で花の集りの見舞を受けた時もこんな樣な氣がした定時になつて上陸喇叭はなり渡つた例になく第一番に整列し幸にチャンピオンボートに便乘する事が出來た故今日ばかりはまだ何船のボートも波止場に來て居ない上陸した自分は若い兵隊を二人連れ會場に急いだ約二十分にして會場についたそこには意外に十時先生が例の通りニコ／＼して居られたのである自分は久濶の挨拶を濟ませ入り兼て居る人々を誘ふて居たが先生は態々迎に來られ早く内に入る樣に勸められた自分の樣に他所管の者までも記憶されたと思ふと全く嬉しかつた先生の日本海軍々人の母たらんとの抱負は着々成功の緒について居る。

自分の中に入つた時は既に九分通りの滿員で二階の一番隅のベンチに僅に腰を卸すを得た。

かくして定刻になるや聖公會の長老(？)及婦人矯風會長矢島刀自及神戸支部長の歡迎の辭あり。

矢島刀自は多年我國の女子育英事業に鞅掌され八十餘歳の今尙老の身をも忘れ南船北馬席の温まる事を知らずとの事今回の叙勳又故ありと云ふべし。

終つて本日の餘興中の第一の呼物たる筑前琵琶の名手鈴木旭耕女史は目榮ゆき計の姿にて靜々と段上に顯るゝや拍手の響喝采の聲堂も破れん計り暫時鳴りも止まざりき軈て嫋々たる琵琶の音は宛ら闇夜の雲間もるゝ星の如く各自の聽感に觸るゝよと思ふ間に然も其瞬間に滿座は恰も水を打てるかの如く闃として醉へるが如く演奏は愈々進み「月雪の中や我身の捨て處」の一句に及ぶや鬼を挫く豪傑連も流石無量の感に打たれけん私に手巾を顏に押あつる者を認た。

嗚呼四十七士彼等が功蹟や以て萬代に傳ふるに足るべきや自分は主家の仇を報じたそれのみ彼等を以て大和民族の典型たるに認めず只彼等が滿身に漲り渡りし其赤誠其堅忍不拔の大精神こそ眞に武人の龜鑑たるの所以ならん。

續て自分の愛歌「我魂を愛するエスよ」の讃美歌の獨唱同く「オタマジャクシ」近眼の失敗と云ふ滑稽なる歌幼稚園兒の唱歌遊戯西洋人の子兒の歌、ピヤノ

に合せて跳ね廻る樣は宛然天使の想像畫を見るが如く頭がボーッとして窓の隙より吹き込む風は時にヒヤリと頸筋をかすめて丁度クリスマスの夜の樣な氣分になつた。

尺八少年劍舞浪花節なぞは半夢の中に過し「吉備舞樂」琴と箏との合奏に合せて小楠公如意輪堂の一節を演じた優美な嫌味のない高尙な舞であつた。

凡ての餘興の終つた時は靑年會理事長は約十分間武人と宗敎の關係を述べられ大野中尉の感謝の辭ありて後北村少佐の發案にて吾等は本會館の正面に列して赤誠を吐露すべく軍歌を歌ふて別れを告げた。

聞く處によれば婦人矯風會員は今回の此の擧をなさんが爲に「小國旗デー」を組織し、早朝より夜遲くまで然も家には多くの幼兒を待たして得られた淸き資力愛の結晶を以て今回の大壯擧を決行されかくも麗しき好結果を得られたのである。

嗚呼愛！愛！愛なる哉！

愛は妬まず誇らず驕慢らず非禮を行はず宜なる哉。

御子樣に
御使者の
美術ゴムまり

○赤玉、白玉、槍入玉。
○各大中小の三種。
○定價八錢から二十錢迄。
○利益は凡て婦人ホームの維持費に寄附。

東京市赤坂溜池三
矯風會事務所内
掘り出しものバザー。

◎呉服物なんでも

△市内は御報せ次第持參。
△地方は御年頭と品物と御知せ頂き御送附仕候
△問屋より直接故必廉價。
△利益の半額は矯風會の會計へ寄附の御約束濟。

東京市四谷區愛住町四九
齋藤ふく

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

各地通信

本部

一月十日(月)本部事務所に於て常置委員會を開く讚美祈禱を以て初む、點呼の後前同記錄朗讀、議事及報告にうつる。

一、安藤禁酒會長の夫人御永眠につき特に追悼演說會開催の件(可決)

但時日は未定委員として根本、守屋、川崎

一、岡田よし子に關する件報告

一、杉本鉱子姉、ミス●スペンサー、兩姉の送別會開催に關する件、委員、井深、古田、小崎、守屋。

一、專任幹事に關する報告

一、青年部長の後任に關する件

一、新事務所の定礎式の順序を決定し凡ての事を準備し置く事、司式者としては小崎牧師に御依賴する事。以上

出席者、矢島楫、小崎千代、根本とく、田山せい、岩村やす、井深花、木村龜井、守屋東、板倉うめの九名なりき。

堺支部

一月九日午後より萬代支部長宅に於て役員會を開く、本年度の働きにつき協議し合せて新年會につきての相談をなす。

一、一月十四日メソヂスト教會に於て新年會開催、白石牧師の有益なる講演ありき。

一、昨年度に於ては大濱商品陳列所に於て公演會を開き大阪博愛社の林歌子姉に講演を願ふ來會者五十名。

一、十一月は大濱公會堂に於て御大典祝賀會を開きたり此會は堺五婦人會聯合のものなり、來會者千名、又御大典に際し五千八百個の祝章(旗)を賣上其純益にて當市保養院愛育社等の慈善團體へ菓子等を寄贈す。

一、十二月には信禮教會に於て祈禱會を開く新年には八名の新入會員を得昨年御大典には四名の復會者を得たり。(岡村ひで)

弘前支部

十月二十二日午後七時より寺町會堂に於て教會連合にて山鹿牧師司會の下に演說會を開く、時恰も當地に於て陸軍大演習の擧行せられし際とて、島田衆議院議長も參列せられ、公用繁き中より一夜の暇を分ちて「國民の覺醒」と題して時節柄有益なる演說ありたり。殊に今度矯風會にて御大典紀念事業として決議せし二ヶ條には、極力贊成せる謂れを各方面より論ぜられ、聽衆一同を大に覺醒せり。此日來會者四百餘名、立錐の餘地もなかりき。

十一月二十日午後一時半より會堂樓上に於て例會を開く、會長司會にて讚美山鹿よし子姉の祈禱、聖書朗讀、書記前會記錄朗讀の後會長より此度矢島會頭叙勳せられし事、會計よりは御大典紀念徽章賣上高及び利益金寄贈方の報告ありたり。次に市內窮民を訪問せし委員方の報告ありし後、會長の感話ありたり。此度御大典の儀式の後大饗宴を設けられし宮殿の美々しき設備、殊に大君の自ら席に臨ませ給ふて、文武百官と宴を共になし給ひし大御心偲へ聞くさへ神々しき御姿は偲ばれるのであります此美觀は一つの教訓を私共に與ふると思ひます其の壯嚴なる席に列したる人々は、何々の役目即ち其の資格又夫れに準じて夫々の禮服を付けずしては列席する事が出來ない、萬事其の禮に適ふた人々の集ひであるので、從つて其の立派な光景も想像されるのであります。私共人間は現世の務めを終へて、宇宙を支配し給ふ大神の御前に出る時はどんな有樣でありませう。榮光ある御姿を拜するに足る人々は、貴賤貧富を

間はず他に資格を備へたる人々、即ちやましき處のない清き心を持てる人々、神の備へ給ひし救ひに依りて凡ての罪惡の洗ひ潔められし人々こそ、大神にまみゆる資格のあるのであると思ひます。此の集ひに預る人々は、僅かに束の間の樂しみでなく、永遠に大神と嬉びを共にするのであります。願ふはお互ひに此資格の中より洩れない樣に勉めたいものでありますと。閉會後茶菓を喫し、樂しく散會せしは四時半なりき。

徹事賣上高利益金拾圓の中

一金貳圓　托兒院へ

一金參圓　京都支部接待所へ

一金五圓　市内窮民二十五名へ寄贈

但し窮民をば戸毎に訪問する事になし、菊地くま子、黒瀧なか子兩姉は下町方面、吉安きせ子田澤みゑ子、古田ふみ子三姉は代官町より松森町方面、高谷とく子、高杉つる子姉は新寺町より新町方面を訪問せり。

十二月十八日午前十一時より元寺町會堂に於て例會兼忘年會を開く。會頭司會にて讚美、菊地くま子姉の祈禱、聖書朗讀、書記前回記錄朗讀の後、會長より一年間の重なる働き及び新入會員數を報告し、次に（受くるよりも與ふるは幸なり）の言葉より、過日市內窮民訪問の折の所感を述べられ、尙我等會員は金品に限らず我心を與へ、即ち貧しきものを憫れみ、助けを乞ふ者に力を與へ、悲しめる者を慰むるは即ち己れを人に與ふるもので、是れは人に與ふれば與ふる程湧き出る井の水の樣なもので、使へば使ふ程清い水は湧き出るのであります。願ふは私共は一層他を顧みるの志を厚くする樣に務めたいものであると、次に副會長黒瀧なか子姉近頃中學生を預かりし種々の經驗を語られ、是れ、又一同をして大に益せらる。讚美祈禱を以て一先づ閉會を告げ、夫より各自持參のお辨當を食し、菊地、古田、高杉諸姉の厚意になれる茶菓を喫し、おもひ〳〵の懇談種々興ある遊びに時の移るも忘れ和氣藹々の中に散會せしは午後四時過ぎなりき（書記高杉つる）

京都支部

御大典記念協同傳道、無料接待所が惠みの内に終りを告げ、十二月三日協同傳道にて之が爲に去る九月より借受られた烏丸通三條下事務所に於て感謝會を催す、席上にて當支部の記念事業としてこの事務所を讓受け、婦人ホームを開き、當支部事務所を玆に置く事に決定せり。會員今井民子姉は立つて之が主姉として働かるゝ決心をせられた。會員も少なく力弱き吾が支部が大膽にもかゝる決心をなすに至りしは、御神のくすしき御導きに依るは言ふまでもなけれど、一ケ月餘も吾等の間にありて直接吾等を勵まし吾等の爲に祈り、盡力せられたる本部守屋東子姉に負ふ處多とす。玆に一言御禮を申ます。當日來會者五十名。數名の會員外の姉妹もありたり。續いて十二月十三日婦人ホームの爲堀り出もの慈善市を同所にて開く。純益六十圓餘を得たり。更らに先に會員初め地方特志家の御盡力に依り、小國旗の賣上利益壹百圓餘とを合せ之を以て協同傳道より同所に設備したる品八拾餘圓（六掛にて）讓受け、猶種々之に必要なる設備費に充てたり。今井姉は慈善市以來玆に宿泊せられ、專ら其準備に盡力せられつゝあり婦人ホーム認可の後は大いに働かんとして居られます。支部の方は同姉の爲に御祈り下さい。

一月四日午後一時半より事務所に於て例會を開く、今井姉司會讚美祈禱初め廿分祈禱會となす數名の祈禱ありたり。總會計の報告あり左の數件を決議す。

一、會計水崎姉辭せられし後を渡邊繼子姉當分引受らるゝ事

一、今井姉の發議により誕生日献金（有志）をなす事に決す、平林榮子姉この勞をお取り下さる事

一、竹内保子姉の發議にて事務所にて日曜學校を開く事、竹中貞子姉專ら之を御引受下さる

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF CALIFORNIA

事に決す
一、事務は三浦姉時々出張して之を執る事
當日は新年早々の事とて集會者僅かに十二名に過ぎざれども、親睦懇談して四時過感謝を以て散會せり。支部長初め役員病氣其他差支にて缺席せられしは殘念なりき。婦人ホームの維持方法等は集會者少なき爲決するに及ばず次回に廻す。

水戸支部

大正四年十二月十八日水戸市上市向井町水戸クリスチヤン教會に於て矯風會例會を開く、出席者廿七名、會長司會の勞をとらる。禮拜を以て始め次に書記前會の記録朗讀次に會計通信書記の報告役員會報告次に各課の報告終りて役員改選をなす。ヤフオールド氏議長の席につき一同の贊成を以て役員は從前の通りに決す。各課長及副課長指名。此一年間に於ける會場の場所決定特に此日御來會を乞ひし杉本鉞子姉の講演ありき、姉は本部よりの傳言を初めとして本年一年間の働きにつき有益なる御感想を述られたり。時間に限りあれば惜しき心地しながら青年部諸姉の歌を以て閉會す(鈴木)

岡山支部

中心人物を失ひ居る爲に一向活動も出來ずに居ります、然し御大典紀念運動につきては警察署長、市長を訪問し大會の決議に關して語る、二案とも主義に於ては贊成なれども實施はなか〳〵至難、殊に娼妓全廢につきては廓淸會等にて種々の運動あれども土地の狀況經濟等より近き内に實行は殆んど不可能なりとの意見なりき、當地は諸學校殊に醫學、高等學校の近くにある事なればせめて移轉になりとも御盡力を乞ふと述ぶ、禁酒會及男子矯風會と聯合して奉祝の心得につき町々の世話役に注意を促す、市長の大英斷を以て藝妓の市祝賀會出席の申込は全部遠慮せしめられたるは市の將來の爲善例を開かれたる事を市長に感謝す、この爲に市長及山陽女學校長上代姉等反對側より新聞紙上其他にて色々惡口の的となられお氣の毒の事なりきされど此事によりて輿論は高調に向ひ居る事を認めたり、會の仕事として學生の慰安會及第十七師團へ「廓淸」を毎月五部づゝ寄贈し將校閲覽後下士卒へ廻はさる事となり居れり(山本)

神戸

主義のために聊か活動を試み好果の中にクリスマスを迎へ感謝に充ちて大正四年を送り候

十二月二十二日午後六時半より神戸教會に於て降誕祭を行ひたり、折よく北村中佐休暇にて歸神されしを幸ひ夫人御同道列席され歡迎會の後、艦内にての好印象を語らる。茶菓福引等の中に閉會せしは九時、來會者五十名、又來ん年の上に主の惠を祈りぬ。(城のぶ子)

改良すべき事ども

先日ある友人が見えまして近頃電車や車で外出して歸つた時に髮が白くなつてゐる、これ程多い塵をうけて來るのかと思ふとどうしても帽子といふやうなものが必要になつて來る、只家にのみ居るのとは異つて種々の勤や働きの爲に外出がちのものは頭を大事にする必要はたしかにあると思ます。

西洋服のやうに大きな不便利なものでなくなんか簡單なものがありそうなものです、お高祖頭巾のやうなもので最少し輕便なものを考へて見たらば如何でせう、手拭の姉さんかぶりといふやうなもので何とか工夫はないものでせうか。其友人は矢島先生が外出の時被つてお出になる頭巾は一番いゝ形のやうに思ふがといふて御出になりました月二回位洗ふのでさへ容易でないと思ますが實際外出がちのものは洗はないでは居られません それは櫛も使ひはしますがいそがしい時に髮にそう〳〵時間は使へません斯うして考へて見ますと下層社會の婦人の働きすがたは凡ての點によく意が用ひられてあるやうですあの人達は手拭かぶりて筒袖で股引がけで有ます烈しい世の中に只見た形が美だとかいゝとかいふのにとらはれず働く爲に都合よき衣服の改良は急務でせう

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF CALIFORNIA

編輯室より

エー・エム

○新しいストーブが出來て手が掛からなくなりました狹い部屋はぢきに温ります、クリスマスからの南天は小さい星を二つ三つ飾つたまゝで美しく明玉を發輝させて居ます、山川姉は此南天で四つ五つの歌が出來たとよろこんでお出です、バザーの折からあるヒヤシンスの芽が近頃めき／＼とのびて來ます、四五月には花をつけませう。

○會頭は此正月には御自身の御寫眞入のハガキ五百餘枚に一々御自作の和歌を一首お認めになりました、御知己の方々や女子學院の學生に年賀として送られました、誰も其御心のこもつた一葉のハガキに對して敬意を表せぬものはありません、四月二十四日までは八十三なのだといふてお出になります。

○藤井姉は醫術後期試驗の爲十八日から二十日まで苦しまれました、お子さんが五人あつて猶此御元氣實に敬服いたします、元氣な老會頭を頂く同人は自然斯うした生きた教をうける事になるのだと思ひます、それにしてもどうか及第なさるやうにとは各々の祈であります。

○杉本姉はいよ／＼お子さん方教育の爲に米國シンシナタに御移轉になります、二月二十五日の天洋丸で御出發です、十數年なれた地に御歸りになる事ですから何等の不安もまた御不自由もありますまい、然しいつも新報の英文欄を賑はして下さつた事を思ふと同人一同殘念に存じます。只今後は米國通信として同姉から來るものを待ち望むより外ありません。

○各地支部よりの御通信の外に支部會員の御投書を願ひたいと思ひますお互日々出遇ふ處の事實に付て發表して益する事の多いものもありませうしまた困る事を分擔して援けあふ事も大切な事と思ひます、どうか御遠慮なく御投稿を願ひます。

○出來る限り此小さい新報を有益にせん爲に同人一同骨折つて居ります、御氣付になつた事がありましたら御教示を願ひます御健康を祈ります。

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

院長診察月、水、木、金、午前
林、峰間兩副長は目下當院に在勤
麴町區三番町三十番地(市ケ谷見附內)
電、番六二番

東洋內科醫院

院長 醫學士 高田畊安

電話ちがさき二番

南湖院

相州茅ケ崎海濱(從停車場半里)
河野、高橋兩副長は目下當院に在勤
院長診察土曜日午後、入院診察後應需

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

(明治四十五年六月廿五日 第三種郵便物認可)婦人新報第二百廿三號(大正五年一月二十八日發行 毎月一回發行)

家族の者がお互に、

喜ぶ顔を見やうとするならば、

銘銘體を丈夫にする事が大切です。

さうするには是非共

品質最良の

ライオン齒磨を使つて、

齒を丈夫にするが何よりも肝心で、

又何よりも肝腎です。